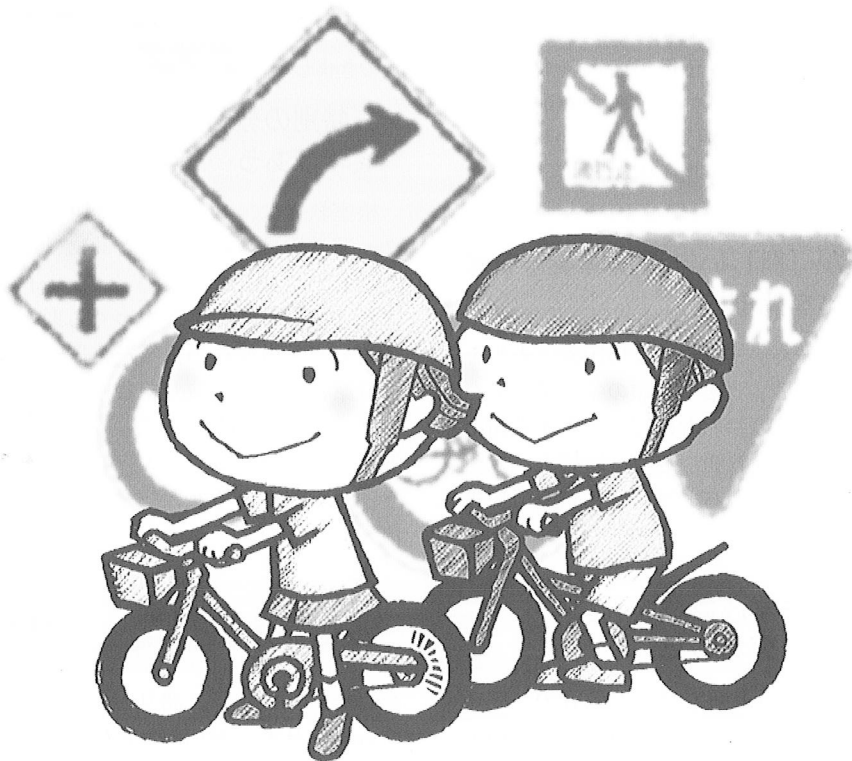


道 教 組

DOKYOSO NEWS vol.525



進む連鎖学習「改訂学習指導要領と子ども・学校」

核兵器禁止条約の批准を求めて…原水禁世界大会に3名参加

「子どもの貧困」松本伊智朗さん(北海道大学教授)にきく

“ぼっち”じゃない……ひとり分会から……その②

小学校英語のキーワードは、『参加・楽しい』

わたしのとっておき

全道各地で

「改訂学習指導要領と子ども・学校」連鎖学習すすむ

3月末に文科大臣が小学校高学年での英語科、小・中学校での「道徳科」、「主体的対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」などが話題になる新学習指導要領を告示しました。この連鎖学習は、道教組単組・連絡会が広く呼びかけ、積極的にその内容や意図を把握し、子どもたちの現実から出発した対抗軸をしっかりと語り合う取り組みをつくろうというものです。

5月に稚内・札幌での植田健男名古屋大教授を迎えた学習講演会を皮切りに、これまで釧路、十勝、上川、空知、胆振と開催し、8月に入り、網走、根室、檜山（8/26）、上川（2度目8/27）が続いています。

網走教組が「新しい学習指導要領を考える」集いを開催

8/19に、教育大学札幌校より前田賢次先生を講師として招き、新学習指導要領の学習講演会を行いました。この日の参加者は18名。網走教組の組合員だけでなく、高教組、退教、新婦人、未組織教員、NPO関係者とバラエティに富んでいました。

学習指導要領のポイントや地域学習の実践などの学習を通して、私たちがこの地に住む人間として、

地域の子
どもたちにど
んな教育をし
ていくのがよ
いかをみんな
で考えること
ができました。



『「特別の教科 道徳」にどう向き合うか』を学びあう……全道連鎖学習会 in 根室

根室教組は、8/19に別海町で、道子どもセンター運営委員の谷光さんと共に「道徳科」について学びあいました。谷さんは、「子どもとして生きることのできる学校をつくる取り組みの中に、道徳教育・道徳科の授業を位置づけよう。道徳科の授業に積極的に取り組む中で子どもを語り教育を語ろう」と話しました。「道徳教育を積極的に進めようと呼びかけている」「管理職が『教科書を使う義務があるんだ』と発言してる」などが交流されました。

「競争よりも学ぶ喜びを」と、 学び・語り・交流した

「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい—教育研究全国集会2017」（教育のつどい=同実行委員会主催）が、8/18から3日間、岡山市内で開かれました。「憲法と子どもの権利条約がいき輝く教育と社会を確立しよう」をテーマに全国の教職員、保護者、研究者、市民らが集まり、開会全体集会と七つのフォーラム、30の分科会で子どもたちのための教育を進めようと語り合いました。「競争よりも学ぶ



～教育の集い2017～

喜びを」と、学び・語り・交流しました。道教組からは、9名が参加し、富樫耀さん（檜山教組・中学校教諭・27歳）は、「職場の中だけでなく、全国各地の先生に報告発表することで視野が広がりました」と話しています。（詳細は、道教組ニュース教育の集い特集で）



原水爆禁止2017年世界大会は、ようやく手にした核兵器禁止条約への期待と、それを力に「核兵

器のない世界」へ前進しようと世界と全国から参加者が集まる、熱気あふれる大会になりました。

原水禁世界大会（ナガサキ）に参加して

核兵器禁止条約が締結され、非常に注目された今年の原水禁世界大会に3人が参加しました。

草の根の運動が世界につながっていた

20年ぶりにこの機会を与えてくださった方々、募金等で応援してくださった方々に心より感謝申し上げます。

140名の北海道代表団を合わせて、7000名が会場を埋め尽くし、核兵器廃絶に向けて多くの交流がなされました。核兵器禁止条約締結後初の大会となり、更なる平和運動の前進を、という雰囲気満ちていました。被爆者の方々の貴重な体験談、国際会議レベルで活躍する各国の大使や各国の平和運動家などによる活動の報告を直接聞くことができました。改めて世界平和の実現という一つの目的に向かって、我々の地元の草の根運動が



「原爆遺構を五感で聴き取る」に共感

平和公園ゾーンのフィールドワークに参加。山王神社境内には長崎出身のスーパースター福山雅治が歌ったクスノキがありました。浦上天主堂は、江戸～明治にかけて迫害され、各地に散り散りになっていたキリシタンが、禁制が解かれた後に戻ってきて、30年かけて建てた教会です。藤山一郎の歌で有名な『長崎の鐘』はこの教会の鐘です。爆風で落ちた場所には今も残骸が

残っていましたし、焼けた天使像なども見ることができました。

平和ガイドの先生が「体験者の話はいずれ聞けなくなる。だから原爆遺構に語ってもらおう。その声を私たちが五感や想像力を使って聴き取る」と言っていたことに深く共感しました。（山本仁史：北見市立西小学校）



いまでも深刻な放射能被害に苦しむ被爆者

「被爆遺構めぐり」に参加しました。山王神社の一本足の鳥居は、半分が崩れました。残った半分も爆風を受けてずれています。長崎医科大学の1m四方の大きな石づくりの門柱は、爆風で浮き上がった隙間に飛ばされた石がはさまり、傾いてしまったそうです。爆心地から550mのところにある浦上天主堂の鐘楼台は、直径3mほどの石づくりのドームが35mもとばされたそうです。爆風の激しさを物語っていました。

被爆者の方から話を聞く機会が何度かあり、爆風や熱線だけでなく、放射能被害は今でも深刻だということでした。「放射能は、被爆者が死ぬまで体の中にあり、被爆者を苦しめている。」という言葉が印象的でした。（山本 民：稚内南小）



学校は「子どもの貧困」にどう向き合えるか

～「北海道子どもの生活実態調査」に携わった松本伊智朗さん(北海道大学教授)に聞きました～

Q 6月に「北海道子どもの生活実態調査結果報告書」が北海道保健福祉部と北大教育学研究院「子どもの生活実態調査」研究班からでましたが。

A 子どもの貧困対策を効果的に推進するため、「世帯の経済状況と子どもの生活環境や学校・家庭での過ごし方などとの関係を具体的に把握することを目的」に行いました。具体的な調査内容としては、「保護者：健康状態、就労状況、収入、学歴、暮らし向き、制度の利用状況等」「子ども：健康状態、生活習慣、学習、人とのつながり、自己肯定感等」です。北海道としての調査は終わりましたが、大学の調査分析活動は引き続き行っています。北海道・札幌市などと共に、調査結果について語り合うシンポジウムを12月に開催したいと考えています。

Q 調査の結果について、学校・教職員が、どのようなことに注目したらよいか教えてください。

A 家庭の経済状況を問う回答では、両親そろっている世帯でも、「貯金していない(6.5%)」「ギリギリ(42.4%)」「赤字(22.9%)」<合計71.8%>と答えています。また、“お金がなくて病気の子どもを受診させなかったことがある”と答えた保護者が、26.4%あり、年収の低い階層ほど高くなっています。子どもたちの姿からはなかなか想像できないかもしれませんが、生活を維持することに苦戦し、ぎりぎりのところで生活している保護者・子どもが結構いるということを意識して、子どもたちと触れあっていくことが必要ではないでしょうか。

A 進学については大変深刻です。進学・進路については、所得格差がストレートにあらわれています。北海道の場合、学費・授業料だけではなく、住居費・生活費が別にかかることも多いのです。子どもなりに心配したり、諦めたりしていますね。そういう子どもたちに学校の先生はどう向き合っていたらよいのかも問われます。

紹介／松本伊智朗さん



現職：北海道大学 教育学研究科
(研究院) 教授

近著：「子どもの貧困ハンドブック」(かもがわ出版2016/11)、「ここまで進んだ！格差と貧困」(新日本出版社2016/4)……他多数

Q 学校・教職員が、「子どもの貧困」という現実に向き合う上で、留意することは？

A 子どもに関わって仕事をしている人が、案外、保護者に対して突き放して厳しく見る面もあります。学習用具とか、修学旅行とか、宿題とか、部活とか、お金がかかることが学校の中に組み込まれています。家庭の経済状況等を心配しながら過ごし、お金のことで嫌な思いをする子がいます。困っている子どもの傷口に塩を塗り込むようなことになっていないか、学校・教職員が、保護者負担になっているものを一つひとつ検証し、再考していくことが必要です。また、ここで詳細は触れられませんが、「生活福祉資金制度<教育支援資金貸付>」をご存じでしょうか。社会保障や福祉についての意義や制度について、子どもたちや保護者にしっかり教えたり伝えていく役割を発揮してほしいですね。

Q 政府の「子供の貧困対策に関する大綱」では、『学校』をプラットフォームとした子供の貧困対策の展開を重点施策の1つに挙げていますが。

A 大綱では、「貧困をなくす」ことに迫ることなく、「貧困の連鎖を断ち切る」ために“習熟度別指導や放課後補習の取り組みで学力保障を”という施策を示します。この強調だけでは、子どもも保護者も苦しく追い詰められる心配があります。

大綱は、また、学校・教職員に「家庭環境等を踏まえた、指導体制の充実」を求めています。その一環として、少人数のスクールソーシャルワーカー

(以下S S W)が自治体に配置されています。しかし、子どもや家庭に関わって、“うちの学校で見切れなくなったので、特別な体制として(過大な期待と共に)S S Wをお願いします”ことになりがちです。学校配置にするなどで、校内の日常的な人間関係を土台に、学校・子どもにとって特別なことがあるかなかろうが、「うちのS S Wさん」と受け取られるようにしていく必要があります。

「子どもの貧困」問題を学校と家庭・地域の連携に位置付けるといことは、お互いに緩くつながりあい、ふだんから、保護者・住人が学校に足を運び、いろいろな応援団として、子ども・教職員の前で振る舞えるような関係づくりを通し、家でしんどい思いをしている子どもが「学校に来たら楽しい！」という学校を創ることではないでしょうか。

“ぼっち”じゃない! ……ひとり分会から…… その②

札幌市立新川西中学校分会

吉田 圭子(教諭)

全教札幌は、組合員の人数は決して多くはありませんが、家族的でまじめな組合活動をしていると思います。それぞれの組合員は、ほぼ全員ひとり分会です。私も自分の職場では、「とても小さな組合だけれど、とてもまじめな組合なのよ」と言っています。「えがお署名」をお願いすると北教組の組合員も未組の人も協力してくれました。

全教札幌の会議では、「学習」が大切にされています。教育をめぐる情勢についての学習やそれぞれの職場の課題をどう捉えたらよいかを学び合うこと、お互いの教育実践から学び合うことも大切にされています。会議に出ると、自分の職場の課題が見えてきたり、自分の教育実践を振り返ることができます。

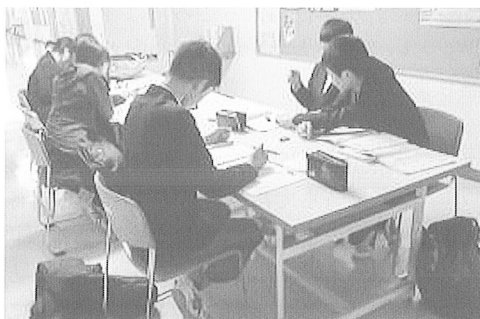
最近の会議でも、ある組合員が自分の学校で困っていることについて、具体的に語ってくれたので、みんなでそれをどのように捉えて、展望を見出していったらよいかを話し合いました。そういう話し合い自体が、非常に貴重な学びの場になっていると感じます。学ぶことで、現状を変えるための力を得たり、多忙化で潰されないための知恵を得たりしていると感じます。



「とても小さな組合だけれど、とてもまじめな組合なの」

わたしの学校も、年々多忙化が進み、職体も近隣校合同でチームを作って参加するのがやっとという状況です。それでも、職場全体に関わる「課題」があれば、組合の違いを超え、未組の人も一緒に話し合うことができる、まとまりのある職場です。パワハラまがいの出来事では、緊急に全員で会議を持ち、被害に遭った職員が健康を損なうことなく働き続けられるためにどうするかを話し合いました。管理職への要望を具体化したり、一番困っている人の立場に心を寄せて、それぞれが出来ることを考えた話し合いでした。職場の仲間がピンチに陥ったときに、みんなで話し合えたことが安心感をつくり出したと思います。

私自身は、そういう職場の労働条件を良くするために、ささやかでも何か役割を果たしたいと考えています。なかなか仲間を増やすところにはまだ到達できていない現状ですが、全教札幌や全教石狩の仲間たちと共に学んだことを、職場に還元できるように努めたいと思っています。



小学校英語のキーワードは、『参加・楽しい』

7月31日、夏の委員長・書記長会議で、岐阜教組の井深晴夫さんを招いて、「改訂学習指導要領と小学校英語」についての学習講演会を行いました。

ともかく小学校英語を体験しよう

Hello Song という歌に合わせて、ジャンケンに参加者で行いました。歓声が起き、一気に和気あいあい。小学校英語の世界に引き込まれます。続いて小1/2年、特支学級での外国語活動の楽しい授業風景が動画で紹介されました。

英語特区の岐阜市の教育の実情

英語特区になっている岐阜市の状況を次のように紹介しました。

- H16 (2004) 年より、3年生以上に「英語科」新設。週1時間の英語授業実施(総合35時間減)
- H27 (2015) 年より、1、2年生も「英語科」授業開始(年間18時間)。
- H29 (2017) 年より、小中一貫英語教育目標と小学校「英語科」の学習到達目標(読むこと・書くこと)が示される

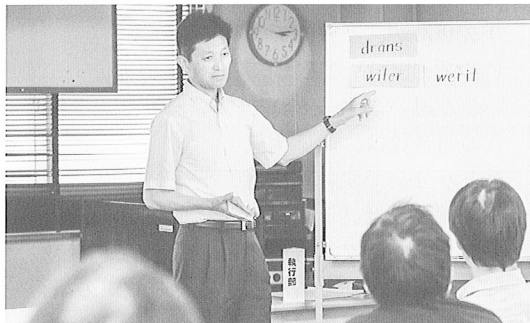
井深さんは「読むことと書くことでは大きな違いがあります。『文字と発音の法則』を教えられないまま『簡単な英文を書き写したり』することが求められています。ある公開授業で、dance を drans と書いた子がいました。『r』を長音を表すと考えたのです。これまで音とカリズムとかで英語活動をした子が一生懸命書いたら『×』をもらうことに。中学校に入るころには『英語嫌い・苦手』という子が大半を占める心配があります」と話しました。

小学校「英語科」の心配

「小学校卒業時まで、現行の中学校の目標と全く同じ『身近で簡単なことについて、外国語の基本的な表現に関わって、聞くことや話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う』ことができるのでしょうか。』と疑問をあげ、さらに先

の小学生の間違いを振り返りながら『「文字(アルファベット)を入れることはふさわしくない』としてきた文科省が、小学校で読み書きを含めて600~700語の単語を扱うとした」と強く非難しました。

小学校教師で英語の免許を持っている人は4%未満だと示し、週2時間の英語授業を強制し、評価させ、入門期の英語指導の重要性も考慮せず、読み書きまで押しつけることをあげ、「経済政策の失敗なら、やり直しのきくことがあるだろう。しかし、教育政策の誤算や失敗では、被害を受ける生徒(児童)たちには教育のやり直しはきかない。」(クレスコ8月号p16引用)と警告しました。



英語は簡単。26文字の組み合わせ

井深さんは、「小学校英語のキーワードは、『参加・楽しい』。その思いを大切に中学校へ送り出したいものです」と話したうえで、「入門期の指導には、文字と発音の法則を教えるフォニックスルール(Phonics Rule: 例えば、<http://phonics.friends-esl.com/>)や、低・中学年の指導では、リズムに合わせて英語のフレーズを言う学習方法のチャンツ(Chants: 例えば <https://english-hacker.jp/859/>)などが有効ではないかと提案しました。

また、小学校教師の自己研修として、「楽しいし体で覚えられる」とYouTube動画(「ゼロから話せる接客のひとこと英会話」で検索 <https://www.youtube.com/watch?v=KhHrwqdXxjUcvc12>)を紹介しました。

組合ってどうなの？ 仲間づくりと組合活動を語り合いました

単組・連絡会 委員長／書記長会議では、「組合ってどうなの？」「仲間づくりと組合活動」を語り合いました。主な論議を紹介します。

組合費って高いんでないかい？

- ・道教組の組合費に各単組の組合費、支部費が重なるとうちでも8000円以上になる。
- ・過去に1年間、若い加入者の定額3700円を減額したが、加入者の数はかわらなかった。
- ・最終的に、組合の役割を説明し、何にどれだけ使うからこの金額になるなどの説明があれば、納得して加入してくれるのではないかな。
- ・組合に入った若手組合員を全道・全国の学習交流会などに派遣し、そこで元気が出れば、組合加入のメリットを感じてもらえる。

- ◎道教組の組合費を払っていても、役に立つ学習会や、楽しい交流会に参加し、仲間が増えれば、やはり組合に入ってよかったと感じ、組合費も高くはないと思えることか。
- ◎組合費の使われ方を分かりやすく説明すること。
- ◎近い将来、定額制にすることで、組合費を分かりやすく、集めやすくなるのではないかな。若手の組合費を軽減することも検討課題か。

「いい教育がしたい」「帰りたい」がぶつかる？……長時間労働改善

- ・組合の役割として、今の長時間労働改善のため、月に1・2回の「ノー残業デー」を本気でやることも必要ではないか。
- ・根本解決には定数改善、業務の軽減なのだが。
- ・職場でもっと仕事をしたいという教師に、機械的に早く帰れなさいと言えるのか。組合が嫌われることにならないか。
- ・札幌の小学校2期制は、保護者の理解も広がり、3期制の評価に追われる体制から、ゆったり評価できるメリットがある。

- ◎「子どものためにいい仕事をしたい、遅くなっても」という要求、「もっと早く帰りたい」という要求、相反するようでもあるが、職場でこの問題を論議することがとても重要。
- ◎長時間過密労働が教職員のメンタル、健康に悪影響を与えている実態もあり、職場でチェックできる体制が必要。
- ◎勤務時間把握、学校現場における業務の適正化、部活動の見直し……など

編集後記

長崎市に原爆が投下されてから72年目となる8月9日、市内の平和公園で「平和祈念式典」が開かれ、約7万5000人の犠牲者の冥福を祈りました。式典の平和宣言で、長崎市長の田上富久氏は、7月に国連で採択された核兵器禁止条約に触れ、「交渉会議にさえ参加しない姿勢を、被爆地は到底理解できません」と日本政府に訴えました。

平和祈念式典後に長崎市内で安倍首相と面談し

た被爆者団体代表は、核兵器禁止条約に日本政府が批准しない方針を示していることに対し「あなたはどこの国の総理ですか」「私たちをあなたは見捨てるのですか」と強く憤りました。

いずれも、安倍首相を目の前にした心からの叫びであり、平和を貫く決意を感じました。安倍首相の平然とした表情には何が隠されているのでしょうか。(新保)

わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



【『ビーフ天国』前夜祭】

夏に黒松内町で行われる「ビーフ天国」の前夜祭では、パレードがあります。毎年、分校は行灯を製作しています。児童生徒は、地域に関わりながら生活を送っています。

【能代 岳(余市養護学校しりべし学園分校)】



【この笑顔のためにも平和の行動へ】

8月6日北広島のお祭りに行きました。光るカチューシャ、スーパーボールすくい、わたあめなど、もらったお小遣いで夏祭りを満喫した娘。

72年前、原爆が灯下されました。この笑顔を絶やしたくない、平和のために行動したいです。

【山崎祥子(道教組共済会理事)】

全教自動車保険

「見積り依頼」でハーゲンダッツをプレゼント!



小納谷部長
(川上企画)



日が短くなってきました。夕暮れ時から夜間には、歩行者等の発見がしにくくなるので、交差点では徐行し、しっかり安全確認しましょう。

提携 東京海上日動火災
保険株式会社

全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 川上企画 (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

道教組 2017年9月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>